

市民意見及び市の回答

資料 2

No.	該当箇所	市民意見	市の回答
1	P.1	市長挨拶は不要。無駄な前置きでしかない	ご意見のとおり掲載しない方向で調整中です。
2	P.4	計画の構成は記載不要。目次を見ればわかる	ご意見を頂戴しましたが、実施計画を別に定めることを分かりやすくお伝えするため、掲載することと致します。
3	P.3	「Ruby City」の文字が中央にある 今回のテーマはDXを目指しているので、「Ruby City」でなく「市役所のDX化」にしたら如何ですか	ご意見のとおり、市役所のDX化の意図が伝わりにくかったと思われるので、検討し、より分かりやすい形に修正致します。
4	P.5	図につけている矢印が真ん中でない 上下の矢しるしは図形の真ん中が良い	ご意見をふまえ、修正いたします。
5	P.7	「人材育成」の「紙とデジタル」写真はマッチしない 「人材育成」の「紙とデジタル」写真は「業務の効率化」の方が良いと思う。又「人材育成」前のイラストが欲しい	ご意見をふまえ、修正の方向で検討致します。
6	P.8	本文の3行目「また、使い慣れているものも、スマート～」 「また、スマートフォンやパソコンは使い慣れている人もいれば、～」	ご意見のとおり、修正致します。
7	P.8～10	表「達成すべき状態」の内容とイラストについての説明文が一致していないのがあるような気がする。表「見込まれる効果」の内容とイラストについての説明文が一致している。 一致させて欲しい	ご意見をふまえ、修正の方向で検討致します。
8	P.9	職員間の情報共有に主眼が置かれているが、業務効率化には業務プロセスの抜本的見直し、業務量の最適化が不可欠。前例踏襲や慣例の打破。前例がないからできない・やらない意識の改革も必須。 ・手書き文書のAI-OCR化、電子決裁100%、支払書類・新規保管文書のデジタル化、問い合わせのAIチャットボット、ゼロトラストセキュリティ、リモートワーク、無駄な会議の整理。やるべきことは多岐にわたる。	業務の効率化における「達成すべき状態」にもありますとおり、個人の業務量の最適化のために「紙の資料を探さなくても、すぐに必要な情報を取り出せる」といった項目も挙げております。 ご意見にある具体的な事例については、実施計画において定めております。

No.	該当箇所	市民意見	市の回答
9	P.10	人材育成で重要なのは、上司の意識改革と基礎スキルの向上である。上が無能・無理解では、部下のやる気が削がれるだけ。管理職向けの定期研修と全職員向けのeラーニングを導入すべき。 これからは行政課題の掘り起こし、解決のヒント探しをデータ分析で導く時代。そのためのスキル獲得と、正確で適切なデータ収集が不可欠。	ご意見も頂いておりますが、実施計画において管理職向けのリテラシー向上のための研修を定めており、これを推進してまいります。
10	P.11	具体的な取組については、実施計画として別に定めます →論外。鳥根県 ICT 総合戦略(案)、鳥根創生に向けた施策分野別の取組を見たまえ。実施計画は個別に定めるのではなく、最初から本計画案に組み込むべき。 この一文を真に受けると、本計画を定めてから実施計画を策定・実行することになり、あまりにも悠長	令和4年度～令和5年度にかかる実施計画について、3月末までに策定いたします。計画の公表と併せて実施計画も公表してまいります。
11	P.13	庁内部会とアドバイザー会議は統合可能。庁の内外で区別せず合同で素案を練ればいい。 イメージ 検討会議(仮称)→報告・諮問→ICT推進委員会 ←指示・承認←	今回設置することとしているアドバイザー会議は、市が作成した案に対しご意見をいただくことを目的とする組織となります。
12	P.13	「振り返り」の文言が5回出ている 「見直し」の方が「実施計画」との語呂合わせが良いと思う	「振り返り」という文言を「進捗状況」に修正致します。
13	P.14	いきなり「※【ICT 推進委員会】」で始まっている 先頭に「各推進体制メンバー」を記載して、その下に【ICT 推進委員会】【アドバイザー会議】【庁内部会】にした方が良い	先頭に「各組織の役割と構成」という文言を追記致します。
14	P.16、17	「Ruby」を使用したシステムが表示されている 一般市民から見ると「Ruby」でどんな事が出来るのか分からない。 「Ruby」のPRを行うなら市民が利用したくなる表現(説明)方法で記載した方が良い	ご意見をふまえ、Rubyがどのように活用されるのか(どのような特徴・強みを持つプログラミング言語なのか)という説明を追加致します。
15	P.18	表1の説明に「～を提示した割合は上図のとおり。」となっている 割合が記載されていない。表1に「%」が欲しい	「割合」という表現が誤りで、正しくは「件数」です。表1にも「件」と単位を追記致します。
16	P.18、19	表2の説明が19頁に「表2表3」としてまとめてある その説明文(先頭2行)を18頁の表2下に異動して欲しい	ご意見をふまえ、修正致します。

No.	該当箇所	市民意見	市の回答
17	P.19	P19 マイナンバーカードの普及率は12月時点で%となっており、 →%の数字が抜けている	ご指摘のとおり、追記致します。なお、12月時点から、公開できる最新のデータへ変更し、 数字を追記致します。
18	P.19	「～12月時点で%となつて～」で数字が記載されていない 普及率が必要	
19	P.19	システム毎に個別に機器を導入することで結果的に重複投資を招いたり →仮想マシンの導入は当たり前、鳥根県はとっくにやっている。デジタル 化の前提条件が整っていないのに、みんなにやさしいデジタル市役所が実 現できるとは思えない	仮想化基盤については松江市も導入しており、重複投資を招かぬよう運用してまいります。
20	P.19	マイナンバーについての説明が少ない 以下を追加して欲しい（できるなら良いです） ① 電子申請可能な手続きは現在60余りで、マイナンバーカードを利用可 能なものが29となっているが、どの位迄増やす予定なのか（電子申請数 が他市と比べて少ない気がした） ② 電子申請の利用率は現在どの程度で、今後はどのようにしてどの位に 増やしていく予定なのか ③ マイナポイントの種類と手続きと申し込み方法のPRがあった方が良 い	ご意見を頂きましたが、あくまで資料編ですので、現状のみを記載しております。
21	P.20	Society 1.0～3.0の説明がない いきなりSociety 5.0の説明よりもSociety 1～5の概略を記載した方が良い （Society 4.0は記載あり） ネットでは「狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社 会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すも ので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿 として初めて提唱されました。」と記載されていました	内閣府ホームページを参考に、本文の冒頭に「狩猟社会（Society 1.0）」「農耕社会 （Society 2.0）」「工業社会（Society 3.0）」という文言を追記することと致します。
22	P.21	マイナンバーの利用について記載がない マイナンバーを利用した新型コロナウイルスの「感染症予防接種証明書」 発行の手続き方法等を記載したら如何ですか	No.20のご意見の回答にもありますとおり、あくまで資料編ですので、現状のみを記載して おります。 なお、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の予防接種証明書については新型コロナウイル ス感染症収束後も利用されるか不明であるため、8年間を通じた内容となる本計画にはなじま ないので記載致しません。

No.	該当箇所	市民意見	市の回答
23	全体	<p>内容が計画というより方針レベル。具体的な取り組みを盛り込んで、「もう一度パブコメをしないといけないレベル」。ボリュームが少なすぎて、突っ込みどころが多すぎる。情報セキュリティに関する記載もない。計画案を練り直し、再度パブコメを要求する。</p>	<p>ご認識のとおり、今回パブリックコメントを募集させていただいた内容はあくまで方針です。具体的な取組についてはデジタル化の過渡期であることから、8年分を一度に決めるのではなく、別途2年おきに『今取り組むべきこと』を精査して実施計画を策定致します。セキュリティに関する記載についてはご意見を踏まえ、追記することと致します。パブリックコメントの再度の実施は致しませんが、市の具体的な取組についての要望は今後の実施計画見直し時の参考とさせていただきますので、パブリックコメントの実施に関わらずお気づきの際に市へお寄せいただきたいと思いますと考えております。</p>
24	全体	<p>IV 具体的な取組と手法の前に、「デジタル化の現状と課題」を章立てで記載すべき。 現状把握なくして課題の認識と解決は不可能。 [松江市のシステムへの投資傾向と課題][マイナンバーカード普及および電子申請利用の現状]もそちらに記載すべき。</p>	<p>ご意見を頂戴しましたが、章立てについては、市の方針を市民の皆様にご知っていただくことに重点を置き、計画全体の見やすさを考慮し現状に関する部分は資料編へまとめることとしております。</p>